



# 校長通信

令和4年度29号 令和5年2月24日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

本日、1、2年生の学年末テストが無事終了しました。3年生は、最後の実力テストを終え、高校進学に向けて、準備を進めているところです。

さて、話は大きく変わりますが、2月6日発生したトルコとシリアの大地震では、死者4万8000人を超えたとマスコミで報じられています。たいへんな状況の中、救援活動が続けられています。私たちにできることは、限られていますが、できる範囲の応援と、亡くなられた方々のご冥福をお祈りしたいと思います。地震は、いつ起こるかわかりません。防災に対する備えが大切であると、改めて実感しているところです。

## 《県PTA研修会に参加して来ました！》

1月21日（土）白浜町総合体育館にて、和歌山県PTA指導者研修会が開催され、本校育友会の会長さん、学年委員さんと私の3人で出席して来ました。

県内公立小・中学校のPTAの実践報告と、講演会がありました。講演は、帝京大学教授で、帝京大学ラグビー部前監督、岩出雅之氏が、「平成生まれの子育て論～教えすぎない～」という題でお話されました。

選手育成についての話でしたが、子育てにも通じる、たいへん興味深い内容でした。人をやる気にさせることを専門用語で、動機づけと言いますが、この動機づけも、2種類ある。一つは、内的動機づけと、もう一つは、外的動機づけ。物で釣ったり、褒美を与えたりして、やる気を起こさせるのは、外的動機づけ。外的動機づけは、効果が持続しない。それに対し、内的動機づけは、内面に沸き起こった興味・関心や意欲。

子どもを育てるには、この内的動機づけを伸ばすことが重要。内的動機づけを伸ばすには、指導者（親）が指示するばかりではだめで、また放任することもだめ。少しずつヒントを与えながら、適切なサポートをする。助言を与える場合も、なぜ、そうすべきなのか、きちんと理由を説明することが必要。そして、自分がこうする、こうしたいという自己決定の機会を与えることが大切であるとおっしゃっていました。

大学ラグビー選手権で、9連覇を達成された方の話だけに、説得力があり、あっという間に時間が過ぎていました。新宮高校出身の方で、大学スポーツの指導者として大活躍されている事に、和歌山県人として、誇りに思いました。たいへん有意義な研修会となりました。

## 《2月23日は天皇誕生日、そして・・・？》

昨日、天皇誕生日で祝日でした。そして、戸川家では、この日、31回目の結婚記念日でした。天皇陛下の誕生日を祝うとともに、健康で無事31回目の記念日を迎えることができたことに、感謝の念を抱いた一日でした。超プライベートな話ですみません。

